

## 令和2年秋の叙勲（津野田和子氏への旭日単光章伝達式）

2月2日、令和2年秋の叙勲として、トリニダード・トバゴにおける日本語普及功労に尽力した功績を評して、旭日単光章を授章された津野田和子（ランキン和子氏）への受勲伝達式が大使公邸で実施されました。

式典には、ランキン和子氏を始め、ムーディ＝クブラルシン初代西インド諸島大学（UWI）言語学習センター（CLL）所長、テイラー元CLL仏語教師、カーター現CLL所長、マンチューク元国立高等教育・研究・科学技術学院長、荒川及び野藤CLL日本語講師が出席し、ランキン先生の授章を祝いました。

平山大使は、ランキン先生は1995年から長い間当国での日本語教育に貢献して来られ、その功績で今回の叙勲となった、当国ではUWIで20年以上に亘り、日本語教育が実施され、1,400人以上が日本語を学んでいるが、これはランキン先生始め日本語教育開拓者の献身的な努力の賜と述べ、勲記を読み上げ、手交しました。

ランキン先生よりは、この授賞に深く感謝する、最初は手探りで日本語教育を始めたが、学生が興味を持つよう工夫し、文化を理解した上での言語の習得と言うことを心がけた、ここに出席する元同僚に貴重な助言や協力を得たことに感謝し、この授賞は自分だけの力でなく、当地日本語教育関係者全体への授賞と思っているとの謝辞がありました。

マンチューク元国立高等教育研究学院長、クブラルシンCLL初代所長及びカーターCLL現所長からは、それぞれにランキン先生へ日本語教育にかける情熱を讃えると共に、その学生重視の教え方や人柄は高く評価されるとの祝辞がありました。

なお、ランキン先生は、2011年に日本とトリニダード・トバゴとの相互理解促進の功績で外務大臣表彰を受け、19年には西インド諸島大学言語学習センター（CLL）が日本語教育普及で外務大臣表彰を受けています。



旭日単光章勲記の授与



記念撮影



祝杯